

地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

地域の活動



Vol.42

2020年1月発行

住民誰でも参加OK! 羽生小路地区健康福祉委員会 世代を超えた地域交流拠点で深まる顔の見える関係性



今回の「地域のいきいき活動」は、羽生小路地区健康福祉委員会が取り組んでいる幅広い世代が集う交流拠点についてご紹介します。

羽生小路地区は、中心市街地に位置していますが、高齢化率が49・6%（令和元年12月1日時点）と高く、高齢化の進行が課題となつていきます。こうした状況もあり、地区の高齢者の「くしたい」といった興味・関心を大切にしながら、創作活動や輪投げ等を取り入れます。和気あいあいと介護予防に取り組んでいきます。羽生小路地区健康福祉委員会の特徴は、健康福祉委員会の活動を住民に広く呼びかけ、誰でも参加できるようにしている点です。

私もママと一緒に0歳の時から参加しています♪



取材を行った日も、子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、屋外でバーベキューを楽しんでいました。準備段階では、男性達も炭火の準備、テントの組み立て等大活躍で、お肉や野菜の焼ける煙の中、食事を囲み、会話も弾んでいました。今回、屋外のイベントにした理由を尋ねたところ、「男性もいきいきと動いてくれて、皆が役割を持つことができる。それに、普段参加されない方も来やすいはず。」といった意図があったようです。

こうした幅広い世代が集い交流できる拠点が充実してきたことで、ご近所付き合いにも良い変化が見られており、高齢者や子どもを見守る意識が生まれ、日ごろの声かけが自然に行えるようになってきているそうです。今後もより一層の住民同士の繋がりを築くための活動が期待されます。